

年収500万円の独身サラリーマンは
普通に生活しているだけで
年間こんなに取られてる!

ホテル税 400円

東京都内のビジネスホテル（1万円以上1万5000円未満）を年4回利用。都内の1泊1万円以上のホテルや旅館の利用者は宿泊料金が1万円以上1万5000円未満の場合は100円、1万5000円以上の場合は200円が課税される。

温泉税 300円

彼女と温泉旅行へ年2回行く。入場1回につき150円が課税される。

ゴルフ場利用税 4800円

年間6回、接待ゴルフへ。1日800円が税金。

所得税 14万9800円

住民税 24万6900円

厚生年金保険料 36万6000円

健康保険料 20万5000円

雇用保険料 4万円

自動車税

(自動車税+自動車重量税)
5万3400円

自家用に排気量1800ccの大衆車を所有。自動車税は自家用か業務用かの違い、排気量によって課税額が決まる。自動車重量税は車両の重量によって課税額が決まる。

ガソリン税 1万9368円

30日×12回程度使用。1日あたり538円が税金。

税金・社会保険料計 130万8120円

一日あたりのポツタくれ額 3584円

ポツタくれ率 26.2%

消費税 12万5000円

たばこを吸って250万円消費。

酒税 2万8105円

缶ビール350mlを一日1本消費。酒類区分、アルコール度数によって課税される。ビールは1缶(350ml)あたり77円が税金。

たばこ税 6万9047円

一箱300円のたばこを一日1箱消費。国たばこ税+地方たばこ税+たばこ特別税+消費税で、一箱300円の場合、一箱あたり189.17円(63.1%)が税金。

消費税アップは秒読み!

所得&住民税もこんなに不公平!

税金のプロが
指南する
「ブログを使った
節税」の裏技付き

税金・年金 ポツタくれ 明細書

**サラリーマン
必読**

これが 重税感の元凶!

近年の
税金UP

配偶者控除、配偶者特別
控除のダブル適用の廃止
老年者控除廃止
定率減税廃止
住民税(税源移譲)

04年に、配偶者控除、配偶者特別控除のダブル適用が廃止。これによって最大38万円の所得控除がなくなった。06年には老年者控除も廃止され、一律50万円の所得控除がカット。07年、定率減税廃止と住民税アップが同時に行われた。住民税については、一方で所得税の負担が減ったため差し引きで増減税はないが、失業者や収入ダウン転職者には痛手。

今後UP
する税金

消費税
株に対する税金
酒税 たばこ税

早ければ来年4月から、消費税が8~10%に上がる見込み。株の税金は、売買益に課税される株式譲渡益課税は来年から10%から20%にアップ(収益が500万円を超えた場合)、配当を得た場合の配当課税も同様に20%にアップ。酒税は今後、発泡酒が増税の可能性あり。また、原油高騰でガソリン税の負担増も必至。暫定税率継続の可能性も高い。

「税金なんて会社まかせだし、よくわからん」という読者も多からう。だが、先ごろ渡された07年の源泉徴収票を見て、税金の天引き額に愕然としたのでは? 昨年からは、庶民イジメとも言える「定率減税の廃止」がなされた。定率減税とは、平成11年に税負担の軽減を目的に導入された政策で、所得税を20%、住民税を15%減らすというもの。平成18年に半減、平成19年より完全に廃止された。税理士の落合孝裕氏によると、「定率減税廃止によって、平成17年と比べて、年収300万円の独身者

で年約3万1000円の増税に、年収500万円の夫婦(専業主婦)子供1人世帯で年約4万7000円の増税になります」とか。それだけではない。専業主婦の家庭では、配偶者控除と配偶者特別控除のダブル適用がすでに廃止となり、最大で38万円の所得控除がなくなった。一律50万円の所得控除が受けられる老年者控除も廃止となり、結婚から老後までの増税地獄が待っているのだ。最近の原油高騰によるインフレ傾向も、重税感を招く。「極端な話ですが、もしインフレ

インフレ、消費税増税で 重税感は今後も加速

年金は2017年まで引き上げが続く!

厚生年金

(年間・本人負担額・標準報酬月額30万円)

'07年度 25万7184円

'17年度 32万9400円

約7万円UP

国民年金

(年間・改定率1の場合)

'07年度 16万9680円

'17年度 20万2800円

約3万円UP

が続いて物価水準が2倍になると、それにとりもなつて給与水準も底上げされます。一瞬、浮かれてしまいがちですが所得税は累進課税。給与が増えれば税金も増える。結果的に自由に使える手取り、可処分所得が少なくなるんです」



税理士
落合孝裕氏

81年生まれ。税理士。96年、落合会計事務所を開設。「会社の税金」「株主の税金」まだまだあなたに払います。(フォレスト出版)など著書多数

が、現在のサラリーマンが年々いくらか税金・年金を払

分所得が少なくなるんです」これに追い打ちをかけるのが消費税アップ。年金財源確保を名目に、すでに秒読み段階だ。「早ければ来年4月には、消費税を8~10%に上げるのが政府の既成路線。遅くとも再来年でしよう」インフレ、消費

増税のダブルパンチで生活は一層厳しくなる。また、社会保険料は、17年まで毎年値上がりすることが決まっている。「会社と折半の厚生年金は、本人負担率が今後18・3%まで引き上げられる。国民年金は、毎年280円ずつ上がり、最終的には1万6900円になります」年金なんてもらえるかわからないのに、ひとすぎないか? そこで編集部では、現在のサラリーマンが年々いくらか税金・年金を払

ポッタクられ率を計算してみよう!

$$(\text{税金計} + \text{社会保険料計}) \div \text{収入計} = \text{ポッタクられ率}(\%)$$

(額面・年間)

源泉徴収票に記載された所得税。毎月の給料明細にある住民税×12。その他、消費税、ガソリン税、酒税、ゴルフ税、ホテル税などは年間のおおよその額をそれぞれ算出。車を所有しているなら自動車税を、マンションなどを持っているなら固定資産税なども加え、1年あたり払っている税金の総額を計算。源泉がある場合は合算する。

会社員であれば本人負担分の健康保険、厚生年金、雇用保険の総計。フリーターや個人事業主など非会社員は、国民年金、国民健康保険、雇用保険の総計。不払い、未納はゼロ。

所得控除前の年間収入。源泉徴収票では「支払金額」部分の額面。副業をしている場合は、その副業の年所得収入(株式投資をしていなければ売却益と配当益)を本業収入に合算。

計算例◎Aさん(28歳・独身・年収500万円)の場合……所得税14万9800円、住民税24万6900円。約250万円を消費し、消費税は12万5000円。ゴルフを6回、温泉に2回で、ゴルフ税と入湯税は5100円。たばこは一日1箱(300円)で、たばこ税は6万9047円。缶ビール350mlを一日1本で酒税2万8105円。税金計62万3952円。厚生年金が36万6000円、健康保険が20万5000円、雇用保険が4万円で社会保険料計61万1000円。税金計と社会保険料計を足した123万4952円を年収で割ると、ポッタクられ率は約24.7%。

っているのか、年収500万円・独身を想定して計算してみたところ、なんと年間130万円近く、年収の約26%が徴収されていた。次項からさまざまな人のポッタクられ率を計算するとともに、税金・年金の抜け道を探る。

果敢に節税に挑んだ副業サラリーマンの明暗

本業の収入と損益通算できる不動産投資、できないけど低税率の株式投資、節税が難しいとされる裸のサラリーマンはどこをやるべき?

サラリーマン大家さん	
年収	約 885 万円
ポツタクられ率	16.4%

浅野 満さん(仮名・33歳・未婚・IT系)
家賃収入が赤字……節税できても損してる!?

収入(額面・年間)		税金		社会保険料	
給料	649万6033円	所得税	28万5700円	健康保険	} 66万339円
(IT系)		住民税	19万8000円	厚生年金	
				雇用保険	
家賃収入	234万9840円	所得税	ゼロ(赤字のため)		
(経費がかさみ実質赤字)		固定資産税	7万600円		
収入計	884万5873円	税金計	78万6195円	社会保険料計	66万339円

浅野さんは、3年前にローンでマンションを2部屋購入、不動産経営を始めた。

「不動産収入が上がっても、マンションの減価償却費やローンの利子などを経費として所得から引けるんです。収入と経費がトントンなら課税対象にならない、そう不動産屋に言われて始めたんです」が、実際に経営を始めてみると、ローンと管理費が不動産収入を上回り、年間約15万円の赤字。「購入した年は約100万円の不動産取得税や登録免許税を払ったんで、損益通算して10万円以上の還付金があった。住民税や社会保険料も計7万円安くなりました」

その他の税金

自動車税	6万3900円
2500CC・個人乗用車	
ガソリン税	1万1298円
年間210ℓ使用	
たばこ税	6万9047円
一箱300円のたばこを一日1箱	
温泉税	150円
年1回	
消費税	8万7500円
主に飲食で175万円を消費	

サラリーマントレーダー	
年収	約 2131 万円
ポツタクられ率	15.1%

塚越 哲也さん(仮名・30歳・既婚・教育関係)
損を承知で株を売り、ポツタクられ率2%軽減に成功

現 在の株価が約5億円分の株を持つ塚越さん。昨年は約2000万円の売却益が発生した。「そのままだと、売却益の10%、

200万円を税金として納めなきゃならないんです。それを少し減らしたいな、と思って。で、年末に、この先株価が上がる見込みのなさそうな株を売却しました」

損失は約500万円。しかし、損失は利益と相殺できるので、課税対象額は1500万円になる。いわゆる「節税売り」だ。

税理士・落合氏がアドバイス

もっと経費を乗せれば源泉還付金も上がる

本業と損益通算できる不動産投資。どこまで経費になるかを知っておきましょう。借入金の利子は当然、経理管理目的のPC代も経費。これだけで納税額はだいぶ違うでしょう。

「マンノ」と意気揚々だが、損していることに違いはないわけで。

税理士・落合氏がアドバイス

FXは株式投資より税金を取られる

株に関わる税金として株式譲渡益課税と配当課税がありますが、500万円を超えた場合、来年からともに10%から20%に引き上げになります。とはいえ、累進課税のFXに比べればまだまだ低税率ですね。



その他の税金

自動車税	5万3400円
個人用の1500CC・個人乗用車	
ガソリン税	4万3040円
年間800ℓ使用	
酒税	4万7137円
週にビール(350ml)7本、焼酎(750ml)7本、日本酒(一升)1本	
温泉税	300円
年2回	
消費税	30万円
食費、生活費、文庫費など500万円を消費	

収入(額面・年間)		税金		社会保険料	
給料	581万2824円	所得税	25万3241円	健康保険	} 70万8538円
(教育関係)		住民税	21万7300円	厚生年金	
		固定資産税	5万4700円	雇用保険	
株売却益	約1500万円	譲渡税	約150万円		
配当金	約50万円	配当税	約5万円		
収入計	2131万2824円	税金計	251万9118円	社会保険料計	70万8538円

「おかげで譲渡税を2000万円から150万円に減らしました」塚越さんは一時期、FXにも投資した。「FXは株と違って雑所得。儲かっても累進課税でこっさりやられるんで、結局、株一本にしました」

転職、浪費で収入の3〜5割が税金で消えちゃった！

ポッタくられ率の高かった2人の女性に直撃。年収の3〜5割が税金で消えている彼女たちの悲劇の原因は何だったのか？

退職⇒フリー
年収
180万円
ポッタくられ率
48.1%

収入ダウン時に容赦なく迫る高額住民税に愕然

坂上奈津子さん(仮名・29歳・未婚・フリーデザイナー)

収入(額面・年間)		税金		社会保険料	
ギャラ	180万円	所得税	18万円	国民健康保険	15万6000円
(Webデザイナー)		住民税	28万5480円	国民年金	16万9200円
収入計	180万円	税金計	54万480円	社会保険料計	32万5200円

その他の税金

消費税 7万5000円

貯金を取り崩しながら主に飲食で150万円を消費

「仕方がないので、とても払えませんと」と区に相談したら、翌年分に計上して、10分割で納めることに。泣きついてみるもんですね」

デ ザイナーの坂上さんは、勤務していたデザイン会社を一昨年末に退職し、フリーに転向した。「フリーのほうが稼げるはず！」という甘い期待は裏切られ、さらに予想外の展開が……。

「住民税の納税申告書を開いたら、年28万円という金額にビックリ！平均月収が15万円ぐらいに下がったところにこの額はキツイ」

所得税とは違い、住民税は前年の収入によって決まる。つまり在職中の年収500万円に対する住民税が、年収180万円なのに降りかかってくる。しかも毎年の税務処理は会社任せだったため、税金について無関心だっただけに衝撃度は大きかった。

浪費癖派遣
年収
約230万円
ポッタくられ率
31.8%

収入を使い切るほどの浪費はボラれて当然か？

新田清美さん(仮名・28歳・未婚・テレアポ派遣)

税理士・落合氏がアドバイス

翌年払いの住民税は退職前に清算を！

「住民税の翌年払い」は意外と知らない人が多いようです。退職前に今後の住民税を計算しておくか、その会社に「一括徴収」を申し出て、最終給料か退職金から天引きしてもらえば、先々ラクでしょう。

洋 服が好きで、試着して店員さんに褒められると断りきれずに買っちゃうんですよ」と言う新田さんは、1年間に洋服やアクセサリーに費やした額だけで150万円を超える。

「カードで払ってるうえ、ボーナス払いとかにすると、今お金がなくても買えるから、つい使いすぎちゃって。ボーナスなんてないのに」

また、交際費も多い。会社の同僚と仲がよくて、会社帰りに飲み、月に1度はゴルフか温泉に行く。そのうえ、誕生日やクリスマスなど記念日には、彼氏と都内のホテルにお泊まりデートだそう。



税理士・落合氏はこう見る！

消費すればするほど高額納税。貧困を直撃

諸外国に比べて日本の消費税はまだ低いほう。来年、再来年での消費税増税は確実で、この人はさらに高額納税者になりますね(笑)。浪費癖の善しあしはわかりませんが、納税者の顔かもしれませんね。

その他の税金

酒税 11万960円
ビール中ジョッキ(500ml)2杯、カクテル(350ml)2杯×週5日

ゴルフ税 4800円
年5回

温泉税 900円
年5回

ホテル税 600円
年6回、都内のホテル使用

消費税 12万5000円
衣類、レジャーが主で貯金を取り崩して250万円を消費

収入(額面・年間)		税金		社会保険料	
給料	224万1538円	所得税	5万710円	国民年金	7万500円
(テレアポ派遣)		住民税	11万4100円	国民健康保険	5万9017円
失業保険	6万6837円			雇用保険	19万4218円
収入計	230万8375円	税金計	40万7070円	社会保険料計	32万3735円

低ボツタクられ率トップは、やっぱりフリー！

正社員は節税も難しく、今回取材した人のボツタクられ率は20〜25%。しかし現実にははるかに下回る税負担で生活している人たちがいる。そう、経費を計上できる人たちだ。

フリーター
年収 200万円
ボツタクられ率 10.5%

年金は払わなくて当然？ パラサイトは税負担低すぎ

篠宮哲夫さん(仮名・26歳・
独身・フリーター)

収入(額面・年間)		税金		社会保険料	
給料	200万円	所得税	3万3500円	国民健康保険	親の扶養
(飲食店アルバイト)		住民税	7万2000円	国民年金	不払い
収入計	200万円	税金計	20万9603円	社会保険料計	ゼロ

その他の税金

酒税	1万200円
たばこ税	3万4523円
ガソリン税	5380円
ゴルフ税	3200円
消費税	5万4000円

社会保険料がゼロの篠宮さん。実家住まいのため、健康保険料は世帯主である父親が支払っており、アルバイト先での社会保険も一切なし、年金は「どうせもらえない」と当然のごとく払っていない。さらに住民税は滞納中。全額の4分の1しか払っておらず、まだ5万円以上が残っている。「高すぎなんですよ。一括で簡単に払える金額じゃないし、延滞金も納得いかんですな」

税理士・落合氏がダメ出し！
消費税アップの原因は年金未納者たち

こういった国民年金を払わない人が増えているから、国はそれを税金でまかなおうと消費税を上げるんですよ。この人の住民税のように、最近、未納の取り立てが厳しくなっているので、注意しましょう。

篠宮さんの税負担の中で妙に多いのが消費税。飲ん兵衛ゆえに食費や飲み代は1か月に6万円以上。その他、旅行、サッカー観戦などのレジャー費で給料をほとんど使ってしまう。「消費税できっちり納税してるんだし、その分、住民税とか控除してもらえればいいのにな」

業務委託
年収 300万円
ボツタクられ率 6.9%

低収入だからこそできる!? 所得税9割還付

土田輝幸さん(仮名・29歳・
独身・出版社)

収入(額面・年間)		税金		社会保険料	
ギャラ	300万円	所得税	30万円	国民健康保険	親の扶養
(出版社)		住民税	約2万円	国民年金	不払い
		(確定申告により27万円還付)			
収入計	300万円	税金計	20万8100円	社会保険料計	ゼロ

その他の税金

酒税	1万4053円
たばこ税	6万9047円
消費税	7万5000円

驚愕の6%台！出版社で働いてく土田さんは、なんと源泉徴収分をほとんど取り戻すとか。「常勤ですが正社員ではなく、業務委託契約なんです。だから毎月の給料もフリーライターと同じで原稿料で支払われるんです。個人事業主扱いですから、確定申告して還付金を受け取れるんですよ。では、どうやって?」

「経費といっても領収書を保存したりするほどマメじゃないんで、適当ですよ。とりあえず収入がほとんどないように経費を計算して、確定申告書の「雑費」にこっそり乗せるだけ。簡単ですよ」

またいい加減な……。年収が低

税理士・落合氏がダメ出し！
これは脱税！でも年収1000万円以内は……

適当に計算してるってことは、脱税にあたりますね。ただ、収入が1000万円を超えない程度であれば、税務調査が入りにくいのも事実。毎年赤字に計上するなど、不自然な部分が多いと目をつけられますよ。



いと税務署もノータッチか!? 「業務委託ってボーンナスないんですよね。だからGW直前に還付される源泉分は完全にボーンナス(笑)」

収入(額面・年間)		税金		社会保険料	
アフィリエイト収入	900万円	所得税	17万6000円	国民年金	16万9200円
		住民税	21万4000円	国民健康保険	26万9460円
収入計	900万円	税金計	63万7952円	社会保険料計	43万8660円

アフィリエイト
年収
約**900万円**
ポットクられ率
12%

「Suica」で
買い物して、すべて
旅費・交通費に
半田 猛さん(仮名・35歳・
独身・アフィリエイト)

ア フリーライターとして高収入を得る半田さん。ポットクられ率が12%と低めなのは、その経費テクニックに秘密がある。「実は「Suica」が必須アイテムなんです。駅の自動券売機でチャージし、日常の買い物をほとんど「Suica」で払う。今はコンビニなどいろんなところで使えるじゃないですか。確定申告で入金領収書を、交通費として堂々と計上できますしね(笑)」

月数回ある友人との飲み会はワリカンにし、合計の領収書をもらって接待交際費に。個人的な旅行もセミナー参加の名目で旅費交通費に。個人事業主ならではの特権で、都合のいい理由付けをしてあらゆるものを経費扱いにしている。すると納める所得税が圧縮される。「今年は経費の割合が収入の90%超えて、さすがにヤバイかなあ」

その他の税金

酒税 2万8105円
缶ビール(350ml)を一日1本

たばこ税 6万9047円
一箱300円のたばこを一日1箱

ゴルフ税 800円
年1回

消費税 15万円
年に約300万円を消費



内訳のごまかしはともかく、領収書はきちんと保管する半田さん。確定申告は税理士に記帳を依頼している。ちなみに費用は12万円。目下の悩みは「収入が年収1000万円を超えると、収入に対しての消費税5%を納付しなきゃいけない」ことだとか。費沢な……。

税理士・落合氏がアドバイス!
ブログビジネスでは「売り上げ公開」は厳禁
ブログでよく「何万円の売り上げ!」とか得意げに載せている人がいますが、ネット関係にうとい読者でも高額であれば突っ込む対象になりやすいので注意。交通費計上が異常に多いのも問題かと。

マネるな危険!
年商2億円、
脱税個人事業主
の裏手口

「税金? 年金? ほとんど払ったことないですよ」とあくどい笑いを浮かべるのは、個人で高級外車の修理業を営むA氏(31歳)。個人にも関わらず、その年商は2億円。なのに一度も確定申告をしたことがないって、これ、完全に脱税ですよな?」

「僕、表面は無職の障害者なんです。10年前、交通事故で右足が麻痺しちゃって、国から障害者認定が降りたんです。けど、リハビリしたらすぐ動いちゃった(笑)。いたいたい認定は活用してますよ。年約35万円の障害者手当と180万円程度の生活保護も受けているし、国民健康保険や国民年金も免除されてます」

収入や資産でバレちゃうものだが?

「修理費の入金口座は知人の会社名義。取引先の数社から通帳を借りて、そこでカネの出

し入れをやってるんです。だから僕個人の所得には見えない。部品の仕入れも架空の個人名で領収書を切れば使い道は問われないし、税金対策したい会社にあければ喜ばれるし。あと、個人名義の資産は持たない。都内に数軒あるマンションや住んでる家は、元嫁の名義だから固定資産税もゼロ。あ、僕バツ3なんです(笑)。車は高利貸しが差し押さえた高級車を所有。借金のカタだから名義は元の持ち主のまま。当然、税金なんてかかりませんよ、僕にはね(笑)」

真っ黒である。二こまで好き放題して検挙されないのは謎であり、国に「しつかりしろ」と言いたい。

